

## 文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岩手県・住田町	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	気仙伝統文化の継続的活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>岩手県の旧気仙郡（大船渡市、陸前高田市、住田町）には、五葉山、冰上山、権現、気仙三十三観音などに代表される信仰習俗、農林漁業はもとより狩猟、川砂金採取などの生業習俗、神楽、剣舞、鹿踊をはじめとする民俗芸能など、さまざまな伝承がいまも色濃く残り、住民の日々の生活に根付いているが、住民の高齢化、少子化、過疎化の波には抗えず、伝統的な伝承は変容の危機にさらされている。そこで平成26年に気仙伝統文化活性化委員会を組織し、文化庁活性化事業による助成を受けながら、平成26年度には信仰習俗を、27年度には生業習俗を記録するとともに普及啓発に努め、平成28年度からは6年計画でこれまで未調査だった住田町の民俗芸能の悉皆調査に取り掛かっている。これらの活動を受けて、平成29年度からは地域と連携した総合的な視野から、普及啓発、情報発信を行い、継続的に気仙地方の無形の民俗文化財の維持と伝承を図っていく。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当部署が行う。  住田町教育委員会事務局生涯学習係：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等  住田町農政課商工観光係：観光業務に関する連携等  また補助事業は次の団体が実施する。  気仙伝統文化活性化委員会（委員長：山口康文・一般社団法人ケセンきらめき大学学長）  委員会は事務局を住田町教育委員会内に置く。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 24,749 千円	平成29年度申請額： 13,425 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>事業を実施するにあたり、気仙地方2市1町のなかで震災による人口流出の少ない住田町であっても、地域の人口減少問題を避けることはできない。伝統文化活性化事業への参加者あるいは受益者の分母となる人口も減少していく。そこで、本事業では「文化財の継続的な活用により人口減少防止に貢献する」ことを目標にする。  すなわち、地域存続のエンジン（あるいは地域消滅のブレーキ）として文化財を活用することで、①保存会や祭事への地域住民の参加数（人口における参加率）の減少を抑止し、②祭事や公演への地域外からの参加を促し、③海外からの情報アクセス数雨を増加させ、その結果として④人口減少を国立社会保障・人口問題研究所の予測以下に抑えて、地域を存続させる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	岩手県指定史跡「栗木鉄山跡」内容確認調査（補助対象経費5,501千円、補助額2,750千円）		
事業概要：	「けせん ものしり検定」 一般社団法人ケセンきらめき大学が実施している地域検定であり、1級合格を最上位として3級まで設定され、毎年1回検定を実施している。合格者は新聞発表される。（自主財源）		
事業概要：	「住田町芸能まつり」 住田町産業・芸能フェスティバルに合わせて毎年10月下旬に住田町農林会館大ホールで開催される芸能公演で、住田町内の民俗芸能から4～5団体が出演する。（自主財源）		
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	住田町教育委員会事務局生涯学習係		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	フェスティバル出演団体の保存会会員数			関連事業 :	③	
目標値 1 :	平成 28 年度		100 指数	⇒	平成 33 年度 100 指数	
設定根拠 1 :	出演団体の出演時会員数を指数100とし、会員自然減を補い会員数を維持して保存会の継続を図る。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
指数	指数	指数	指数	指数	指数	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	新設するウェブサイトへのアクセス数			関連事業 :	①	
目標値 2 :	平成 29 年度		100 指数	⇒	平成 33 年度 100 指数	
設定根拠 2 :	平成29年度のサイト新設時のアクセス数を指数100とし、一過性ではなく継続的なアクセスを得る。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
指数	指数	指数	指数	指数	指数	
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	地域の文化遺産を活用した取組数 (本事業の取組を除く) (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	その他(文化財ボランティア活動件数の増加)			関連事業 :	②	
目標値 3 :	平成 29 年度		100 指数	⇒	平成 33 年度 120 指数	
設定根拠 3 :	平成29年度を指数100とし、本事業が地域の各種文化財ボランティア活動件数増加への誘因となる。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
指数	指数	指数	指数	指数	指数	
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	地域の伝統文化に関わる(団体所属など)住民数			関連事業 :	④ ⑤	
目標値 4 :	平成 29 年度		100 指数	⇒	平成 33 年度 100 指数	
設定根拠 4 :	平成28年度を指数100として平成34年度において指数が下回らない(人口自然減を除く現状維持)					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
指数	指数	指数	指数	指数	指数	



事業④：	住田町の民俗芸能悉皆調査（6年計画の2年目）	実施団体：	気仙伝統文化活性化委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	平成28年度にひきつづき、披露される芸能を鑑賞するだけではなく、上演機会、後継者育成、行政支援など。地域や団体や芸能の姿を、出演団体や有識者と来場者で確かめ、芸能をより力強く伝承していく道をさぐる、より深い理解と啓発をめざす講演付き公演を、年1回継続実施する。					
評価指標区分：	・フェスティバル出演団体の保存会会員数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	出演依頼以前の会員数を100とし、翌年同時期または次回祭礼時以降の会員数を100以上とする。					
目標値：	平成 29 年度	100 指数	⇒	平成 33 年度	100 指数	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
指数	指数	指数	指数	指数	指数	
事業⑤：	住田町の民俗芸能悉皆調査（6年計画の2年目）	実施団体：	気仙伝統文化活性化委員会			
事業区分：	調査研究	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	住田町内には未調査未指定の権現舞（24地区でそれぞれ違う伝承があると想定される）の現行全曲を一次資料として映像で記録するとともに、その映像資料を編集して普及啓発用短編を作成する。また、この映像は、別途構築される「けせん文化遺産情報発信サイト」にも援用される。					
評価指標区分：	(リストから選択してください。)			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	平成28年度からの調査時における各保存会構成員の人数が自然減を除いて減少しないこと。					
目標値：	平成 29 年度	100 指数	⇒	平成 33 年度	100 指数	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
指数	指数	指数	指数	指数	指数	
事業⑥：	住田町権現舞全記録作成事業	実施団体：	気仙伝統文化活性化委員会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 29 年度			
事業概要：	住田町内には未調査未指定の権現舞（24地区でそれぞれ違う伝承があると想定される）の現行全曲を一次資料として映像で記録するとともに、その映像資料を編集して普及啓発用短編を作成する。また、この映像は、別途構築される「けせん文化遺産情報発信サイト」にも援用される。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	権現舞伝承集落での参加戸数の全戸数における参加率を100とし、維持または漸増を図る。					
目標値：	平成 29 年度	100 指数	⇒	平成 33 年度	100 指数	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
指数	指数	指数	指数	指数	指数	